

御正忌報恩講

1 1 月		月	
2 8 日		日	
金		曜日	
8 : 0 0		開門	
引続 引続 き	10 時 報恩講結願日中法要 (嘉枝堂)	午前	法要・行事
引続 引続 き	8 時 報恩講結願晨朝 (嘉枝堂) 永代経総経 法話	午後	
引続 引続 き	9 時 30 分 晨朝 (嘉枝堂) 永代経総経 法話	午後	
引続 引続 き	13 時 報恩講結願速夜法要 (嘉枝堂)	午後	
引続 引続 き	12 時 30 分 宗派授与式 (嘉枝堂)	午後	
引続 引続 き	13 時頃 御講果非時 【左記参照】	午後	
引続 引続 き	16 時 昏時 (嘉枝堂)	午後	
無料送迎バス (*バス停留所については 8 p をご覧ください)		バス	
17 : 0 0		閉門	

御講果非時

蓮如上人の時代から親しまれ、平座で僧侶共に食した御講果非時。（お斎）
仏教の戒律には「昼過ぎから翌朝までは食事をしない」という決まりがあり、この時間を「非時」と言いました。報恩講を終えてから、参列の皆様と僧侶が共に食事をいただきながら、お念仏に出遇った慶びを語りあう、それが「御講果非時」です。

御講果非時弁当

【冥加金】
5,000円（二人）
※何名でもご一緒に
お申込できます。
【事前申し込み制】
お申し込みは、東山浄苑尚書（総合受付）にて事前にお受けしております。



報恩講結願日中法要に勤まる

「坂東曲」とは？

報恩講は、宗祖親鸞聖人の御祥月命日に勤まる浄土真宗最大の法要です。

全国から約50名の僧侶が本山に参集して勤まる東山浄苑の報恩講。この報恩講の結願日中法要中に勤まる「坂東曲」は、本山でしか勤まることが無い口伝の声明で、僧侶が首体を前後左右に揺り動かして念仏や和讃の唱和を行います。

この坂東曲の起源は定かではありませんが、越後国に配流となった親鸞聖人が荒海に揺れる船中で念仏を唱えたとの説や関東巡化の際に暴風雨に遭った船中で揺れながらも念仏を唱えたとの説など諸説ありますが、東本願寺でしか勤まることが無い独特な声明作法（お経の勤め方）です。

是非、親鸞聖人の御生涯を偲ぶとともに、大勢の僧侶が一心不乱に勤める「坂東曲」を観に、当日お参り下さい。

【報恩講結願日中法要】
・令和7年11月28日（金）
午前10時 嘉枝堂本堂にて



報恩講バス運行表[11月27日～28日]				
臨時バス停前発		日時	東山浄苑発	
11/27	11/28		11/27	11/28
木	金		木	金
30	30	7		
		8		
		9	00	00
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		00 30
		18		00